

平成 27 年度 新潟県小中学校 P T A 連合会 総会議事録

日時：平成 27 年 6 月 13 日 13：30～15：50

会場：新潟県商工会館 7 階大会議室

出席者：表彰関係者 8 名、来賓 10 名、代議員 32 名、
委任者 17 名、県 P 連新旧理事 43 名

1 開会

2 「P T A の歌」 斉唱

3 会長あいさつ

新潟県小中学校 P T A 連合会会長 堀川 義徳

こんにちは。今ほどご紹介いただいた新潟県小中学校 P T A 連合会会長の堀川と申します。本日はご多用の中、このように多くの方の参加をいただき、平成 27 年度新潟県小中学校 P T A 連合会の総会が開催できることを大変喜んでおります。

また、公務ご多用の中、新潟県教育庁生涯学習推進課の千野昌広様、同じく、生涯学習推進課成人教育係長長谷川智泰様、義務教育課参事塚田賢様ほか、多くの来賓のご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

現在、子どもを取り巻く環境は過去先人たちが経験したことの無い時代に突入しています。この大きな要因と考えられる少子化は、この国の根幹を揺るがす大きな問題であると考えます。我々 P T A が少子化問題に対し、即効性のある対策はできないかもしれませんが、将来、地元地域や日本を担う子どもたちの教育に直接携わっていることは、重要な役割と大きな責任があると思います。現在、新潟県では教育の基本理念として個を伸ばす教育を目指しています。近年、子育ては家庭・地域・学校の連携が重要と指摘されていますが、まず、第一にしっかりとした個をつくるのが大切なのではないでしょうか。個を磨かず、初めから連携ありきでは、今後さらに加速するグローバル化や複雑化する社会で生きていけなくなってしまうと思います。しっかりとした個が、地域や学校と連携することにより、その効果はさらに大きくなるはずで、「生まれ育った地域の歴史や文化を学び、故郷への愛情と誇りを胸に、粘り強く挑戦し、未来を切り開くたくましい人づくり」という県の大きな目標に向かい、子育てを楽しんでいこうではありませんか。

個を磨くということは、子どもだけではなく、我々保護者や先生方も自分を磨き、その磨きで周囲を明るくしていけたらもっといい社会になると思います。

残念ながら現在、いじめ問題が大きな社会問題になっていて、県 P 連はもちろん、日本 P T A でもいじめは絶対に許さないという強い意志で、様々な角度からいじめ問題に取り組んでいます。

国ではいじめ防止対策推進法などの法整備を行い、新潟県ではいじめ問題対策連絡協議会を設置し、その構成団体にも県 P 連は属しています。先日 26 日に行われた会議では昨年来より県内はもとより全国的にも事案が発生しているネットいじめ防止に重点を置いた取り組みが急務とする考えが示され、本日の資料にもあるように、いじめ防止メッセージを各市 P 連や単 P に周知することをお願いするところでもあります。このように、県 P 連では改革の一環として、県教育行政との連携を深め、ひとつの大きな目標に向かって行けるよう、皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

平成 30 年に行われる全国研究大会新潟大会に向けて、昨年度の準備委員会から今年度はいよいよ実行委員会を立ち上げ、より詳細な準備をしていかなければいけません。本年度役員になられた方は、例年の役員より面倒なことが多くなると思いますが、現代社会において、希薄になった人と人との結

びつきはこの面倒な中から生まれることが多いのではないのでしょうか。面倒なことを自ら買って出る、そんな後姿を子どもに見せることが、小さな自分磨きかもしれません。

P T Aを通じて知り合った方との縁を大切に、今後様々な問題があるかもしれませんが、みなさまと共に知恵を出し合い、前向きな姿勢で取り組んで行けるようお願い申し上げます、簡単ではございますが、会長としての開会のあいさつに代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

4 来賓祝辞

新潟県教育委員会教育長

高井 盛雄 様

みなさんこんにちは。本来であれば、教育長の高井がこの場にご出席させていただく予定でございました。急きょ、やむを得ない事情がありまして、本日出席することができなくなりました。あいさつを預かって参りましたので、この場でご披露させていただきます。

平成 27 年度新潟県小中学校 P T A 連合会総会の開会に当たり、一言お祝いを申し上げます。

皆様方には日頃から、小中学校の教育活動の充実と、子どもたちの健全育成にご尽力をいただいておりますとともに本県の教育行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、少子化やグローバル化等の進展の中で教育に対する期待も、これまで以上に高まっており、国においても教育に関わる改革が矢継ぎ早に行われております。小中一貫校の制度化や道徳の教科化、英語教育の早期化・高度化、大学入試改革の検討なども進められており、県といたしましては、引き続きこうした国の動向のことを重視しながら、各種教育施策に取り組んでまいりたいと考えております。

また、本県教育の基本理念である個を伸ばす教育の下、今後目指すべき人づくりの姿として、故郷への愛着と誇りを胸に粘り強く挑戦し、未来を切り開くたくましい人づくりの実現に向けて、各種事業を展開していくことを誓います。

本日は、本年度の事業の中から、2 点についてお話させていただきます。

1 点目はいじめ見逃しゼロ県民運動です。県教育委員会では、いじめの防止に県民ぐるみで取り組むため、深めよう絆新潟県民会議と連携していじめ見逃しゼロ県民運動を展開しています。今年度はいじめの防止に関する啓発活動として、小学校高学年から高校生を対象に映像と音声による CM コンテストの開催を予定しております。また、インターネットを介したいじめ等の問題が、緊急の課題となっていることから、P T A の皆様など関係機関と連携し、スマートフォン等の使用ルール作りなど情報モラル向上にも重点的に取り組んでまいります。

2 点目は、家庭教育支援です。核家族化や少子化、地域のつながりの希薄化など家庭や子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子育てに悩みや不安を抱える家庭も多くあります。家庭の教育力を高めていくとともに、安心して子育てができるよう地域における人と人とのつながりを強め、社会全体で支援していくことが求められています。このような中、子育てに関する不安や悩みにこたえる相談体制の充実を図ることも、企業と学校と連携した家庭教育講座の開催など、親の学ぶ機会の充実にも努めてまいります。また、身近な地域における家庭教育支援活動の充実が図られるよう、活動の中心となる人材の養成にも努めてまいります。

いずれにいたしましても、児童生徒一人一人が個性を大切にしながら能力を伸ばし、自己実現を図っていただけるよう努めてまいりますので、皆様方におかれましては P T A のリーダーとして、個を伸ばす教育や特色ある学校づくりに一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

おわりに、県小中学校 P T A 連合会のますますのご発展と、本日出席の皆様のご健勝を祈念しまして、祝辞といたします。

平成 27 年 6 月 13 日 新潟県教育委員会教育長 高井 盛雄

<来賓紹介>

- ・新潟県教育委員会 教育長 代理 生涯学習推進課 課長補佐 千野 昌広 様
- ・新潟県教育庁生涯学習推進課 課長 代理 成人教育係長 長谷川智泰 様
- ・新潟県教育庁義務教育課 課長 代理 参事 塚田 賢 様
- ・新潟県小学校長会 会長 代理 理事 村川 孝子 様
- ・新潟県中学校長会 会長 代理 理事 吉澤 克彦 様
- ・新潟県教職員組合 執行委員長 木村 博 様
- ・一般社団法人新潟県PTA安全互助会 理事長 廣上 健二郎 様
- ・新潟市小中学校PTA連合会 会長 大宮 一真 様
- ・新潟県小中学校PTA連合会 顧問 小野寺 正幸 様
- ・新潟県小中学校PTA連合会 顧問 長谷川 純一 様

5 表彰 第13回新潟県小中学校PTA広報紙コンクール入賞者

【小学校の部】

最優秀小	糸魚川市立糸魚川小学校PTA	あお空
優秀賞	燕市立吉田北小学校PTA	緑風
優秀賞	柏崎市立剣野小学校PTA	いきいき
奨励賞	胎内市立胎内小学校PTA	あさがお
奨励賞	三条市立月岡小学校PTA	夢 ゆめ DREAM
奨励賞	長岡市立寺泊小学校PTA	海原だより

【中学校の部】

最優秀賞	糸魚川市立糸魚川東中学校PTA	焼山
優秀賞	長岡市立東北中学校PTA	かしわ
奨励賞	糸魚川市立糸魚川中学校PTA	笑顔
奨励賞	上越市立大潟町中学校PTA	砂丘

6 議長選出

提案者：事務局

五泉市小中学校PTA連絡協議会 笠原 實代議員
議長あいさつ

ただ今、議長を仰せつかりました五泉市小中学校PTA連絡協議会代議員の笠原實と申します。皆様からの建設的なご意見をいただき、充実した議事の進行に努めたいと思います。よろしくお願いいいたします。

7 議事録署名人指名

議長：笠原 實

- ・上越市小中学校PTA連絡協議会代議員 保倉 政博
- ・見附市PTA連合会代議員 廣井 信彦

<定足数の確認>

代議員総数 49 名、うち本日の出席者 32 名、委任状提出者 17 名、出席者と委任状提出の代議員で 49 名です。規約第 21 条により出席者が 2/3 以上の定足数に達しておりますので、本総会は成立いたします。

また、議案の議決には規約第 22 条により出席者と委任者の過半数の賛成が必要ですので、25 名以上で可決になります。同数の場合は議長が決することになります。

8 議事

第1号議案 平成26年度会務・事業報告及び各委員会報告

- (1) 会務報告
 - －要項3～4 ページ参照
- (2) 事業報告
 - －要項5～9 ページ参照－
- (3) 委員会報告（教育問題・広報・組織検討）
 - －要項10～13 ページ参照－

・教育問題委員会

【質問】上越代議員

絶対三カ条の内容、我々の取り組む方向性はどのような結論になったのか。

【回答】教育問題委員長

絶対三カ条

- ①契約者は必ず保護者とし、パスワードを管理すること
- ②小中学生、高校生に用意されているフィルターをかけること
- ③親子が合意の上で、夜間9時以降から朝までは親に携帯電話を預けるなど、家庭内での決まりを作ること

2月の広報紙に掲載されているので、ご一読ください。

我々の取り組む方向性は、保護者・学校・PTA・携帯電話会社・警察がお互いに協力し合い、協議して携帯電話によるいじめや犯罪防止に取り組む仕組みを作ることである。

昨今、幼児や小中学生をターゲットにした誘拐事件やわいせつ事件が多発しており、事件に巻き込まれるリスクを考えると、下校時や塾帰りの安全確保、所在の確認など、携帯電話に頼らざるを得ない一面がある。その中で、いかに携帯電話によるいじめに巻き込まれないようにするかという環境を作るのが我々の取り組む方向性であると考えている。

＝第1号議案採択＝

賛成多数で原案通り承認される

第2号議案 平成26年度会計収支決算報告及び監査報告

報告者：事務局

－要項14～17 ページ参照－

監査報告

報告者：監事

【質問】上越代議員

税金について、なぜこれほど支出が減ったのか。

【回答】事務局

24年度は収益事業である互助会の総合補償制度の手数料が多かった。25年度は新潟市P連の独立があり、手数料収入が減ったため、税金が少なかった。今後はそれほど増えることはなく、だいたいこの程度で行くと思う。

＝第2号議案採択＝

賛成多数で原案通り承認される

第3号議案 県P連改革と会費の値上げについて

提案者：本部役員

－要項18～19 ページ参照－

<提案>28年度より会費を55円値上げし、年間100円とする。

【質問】三条代議員

三条市としては28年度から45円から100円にするのは反対です。例えば、研修費や旅費など、日Pの大会に20名も行かなくてもよいのではないかと、という意見もある。会費を上げる前に事業を削減するとか、そういったことも考えられるべきではないかと思う。上げるにしても、金額にしたなら55円だが、倍以上の値上げなので、これはあまりにも法外な値上げではないかと思う。例えば、皆さんが何かを買われるときにおとといまで45万円で買えたものが、明日から100万円になると言われたら、これはかなりの値上げですよ？その辺検討し直していただくことは可能なのでしょうか。

【回答】会長

我々も2年間かけて、県内の理事と話し合ってきた、本来であれば新潟市の独立後にもう少し早くこういう話が出てきて対応すればよかったのだが、役員の交代などがある中、ぎりぎりのタイムスケジュールで今のような形になった。こういう方向性で行こうということで、先般の議事録でも決定している。この方向について変更する予定はありません。あくまで、ここは議決をしていただく場所ということで考えておりますので、時期と金額についてこの場で変更等対応する考えはありません。

【意見】魚沼代議員

魚沼市では先般市P連の会議をしたが、こういった提案が出ているということは、値上げは曲げられないのではないかと話だった。大幅な値上げになっているが、県P連として各単Pにどういうメリットがあるのかということをもっとアピールしていかないと、なかなかみんな納得してくれない。単Pからは、県P連は出先機関みたいなものだからいらぬのではないかと話もあった。値上げをするからにはどういうメリットがあるのかということ各単Pに周知させた方が了解を得られるのではないかと思う。

【意見2】長岡代議員

本日長岡市の会長は欠席しているので、代わりに長岡市P連の状況を簡単に説明します。4月に市P連の総会があった。主に4月の総会を使って単Pの意見を聴取する機会を設け、単Pの意見を集約して5月に正式な会議の中で、質疑等を受け付ける場があった。結果的に、全体として質問は無かった状況であり、28年度からということもあり状況から踏まえるとやむ無しのかなという感じだった。

ここまでの長岡市P連としての立場で、ここからは私見ですが、客観的に収支決算書を拝見し、この値上げは妥当なのではないかなという意を強く感じている。

大きな理由としては、一般会計の収入の部分、決算額をよく見てみると、会費収入と助成金収入との割合が、助成金その他の方が逆転しているという、あまりこういう決算は見たことはない。そういった意味でも適正化ということが必要なのではないかと思う。

併せて、支出の方も、先ほど事務局から非常に丁寧な説明があったが、家賃・共益費等に関して、現在互助会から負担していただいているということも正常化することが、PTAの集まりである県P連の立場ではないかと考えている。客観的にみて、数字からとらえてもむしろ妥当化の道、その上で県P連の理事会として、様々な提案をされながら改革をされていくものと思っている。そこに期待をしながら今回の値上げを行って、健全化に向けて進んでいただければと思う。

また、これも個人的な意見ではあるが、客観的に新潟県という大きな塊の中で新潟市P連との今後の可能性があるのであれば、協議等も含めて、うまくまとまるように、会長さん以下大変難儀をかけるかと思いますが、ご尽力いただければと思う。

＝第 3 号議案採択＝

賛成 27 名、反対 3 名、議長委任は 17 名であり、議長は賛成
よって、賛成 44 名、反対 3 名、棄権 2 名
賛成多数で原案通り承認される

第 4 号議案 平成 27 年度役員の選出（案）

提案者：役員選考委員長

－要項 20 ページ参照－

旧役員代表あいさつ

新役員就任あいさつ

質問・意見なし

＝第 4 号議案採択＝

賛成多数で原案通り承認される

第 5 号議案 平成 27 年度事業計画（案）

提案者：事務局

－要項 21～23 ページ参照－

【質問】三条代議員

関連事業の中で日本 P T A 全国大会や横浜大会に出られるようですが、報告書は全ての方が上げているのか、それとも 1 名が代表して報告書を上げているのか。私共としては、色々な方の見方があると思うのでいろんな方が書いた報告書を読みたい。それを下におろせると思う。そういう風にはできないのか。

【回答】会長

30 年に新潟で大きな大会があるため、少しでも多くの方に大会に行ってもらって、雰囲気を感じたり、普段触れられないような講師の方の話を聞いたりしていただきたいと考えている。そこで、27 年度からは経費の面で少し行きやすくする一方、昨年度までは任意的な報告書だったが、分科会と全体会の報告書を義務付ける予定である。

行かれた方は必ず、自分の分科会並びに全体会の自分の目で感じたことを報告書にまとめていただいて、それを全員分まとめて全体で回覧できるような形にしていきたいと考えている。なお、大会に参加した方が郡市 P 連で集まりがある際は、もらった資料などを活用しながら、全国大会の報告会のような時間を設けてもらいたいと考えている。一人でも多くの人に行っていただいて、その波及効果を郡市 P 連、単 P の方に届けていただければ、研修費を増額した意味が出てくるのではないかと思う。

＝第 5 号議案採択＝

賛成多数で原案通り承認される

第 6 号議案 平成 27 年度会計収支予算（案）

提案者：事務局

－要項 24～26 ページ参照－

質問・意見なし

＝第 6 号議案採択＝

賛成多数で原案通り承認される

その他

長岡代議員

P T Aのあり方について、長岡市P連の取組みを話します。

まず、値上げ問題について、2年前から市P連だよりを通じて各学校に説明し、今年度4月に値上げ関係の資料を配った。長岡は65円の会費で運営している。長岡市は教育長決済を取らなければ値上げできない市である。今年の4月の総会で各学校が審議し、市P連の総会で会長が説明をしたが、意見は何も出なかった。

保護者が亡くなった時に弔意を表す制度を作ったり、市P連でスマホとSNSについてガイドラインを作ったり、いじめ問題対策をしたり、各学校と市P連、会長が連携している。また、ソフトボールやインディアカなどスポーツ大会が盛んで、保護者同士のつながりを深めるという目的で開催している。

自分の学校だけでなく、地域と家庭と学校との連携を進めていくことが、P T Aのあり方なのではないかと考えている。

9 報告

①平成30年（公社）日本P T A全国研究大会新潟大会について 報告者：事務局
－要項27ページ参照－

②第55回新潟県小中学校P T A研究大会胎内大会について 報告者：胎内市P連会長
－要項28～29ページ参照－

訂正：後援 胎内市教育委員会 → 共催 胎内市教育員会

③その他

別紙資料 教職員の合理化計画反対する緊急要望書について 報告者：事務局

10 議長退任のあいさつ

11 連絡事項

12 監事講評

監事

みなさま長時間にわたり、大変どうもありがとうございました。まずは退任される、中嶋さん、石田さん、坂井さん、会長をよくサポートし、難題に立ち向かわれた、私の尊敬する3方です。大変お疲れ様でした。新しい役員のみなさまも頼もしい人員が選出されています。リーダーシップを発揮されることを期待しています。代議員の皆様、理事の皆様にはお願いがあります。皆さんは、それぞれの地域の代表です。それぞれの地域に戻りましたら、色々とコミュニケーションをとりながら、それぞれの地域の問題点を理事会に上げていただき、そういう皆さんの積極的な行動により県P連は今後ますます活性化していくと思っている。日P大会の準備、教育委員会への要望等、27年度は予定されている。理事の皆さんは全会全員参加でお願いします。

13 閉会のあいさつ

副会長

本日は、長時間にわたりまして、本当にお疲れ様でした。今日は新旧理事、代議員の方々も多数ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。まず、26年度の役員、理事の方々には本当にお疲れ様でした。問題が大きかったこともあるが、活発な議論があって、非常に濃厚な1年だったと思う。ぜひともその気持ちを引き継いで平成27年度も引き続きよろしく願いいたします。以上をもちまして、平成27年度新潟県小中学校P T A連合会の総会を閉会いたします。